

園内研修

No.2 認定こども園男鹿市立船川保育園

吉田宏美(担当)鎌田美萌(文とイラスト)

R4年9月16日

だより

ことば
1年目船川保育園ではテーマを決めて、
3年間程研究していくことが多いよ！

皆さんこんにちは。前号では、船川保育園の園内研修の研究の方法についてお伝えしました。今回は、研究テーマについてです。テーマは前年度迄の成果と課題を基に職員にアンケートを取り、話し合いを重ねたりして決定しています。

今回、テーマが決まる迄(設定理由)をマンガ化してみました。(前年度担当の真砂子T.桧山T.ありがとうございます…)

そこで、今年度は、子どもが豊かな経験を積み重ねられるように、「やってみたい」「やってみよう」を大切にする保育を目指すことになりました。

それには、一人一人の内面を見取り、意図的な保育者の関わりを考えなくて必要がります。

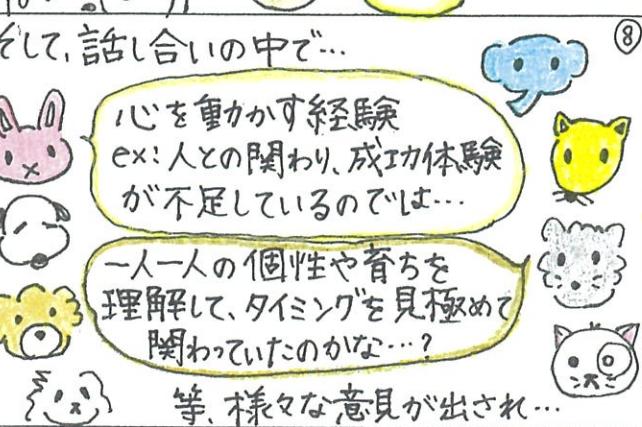
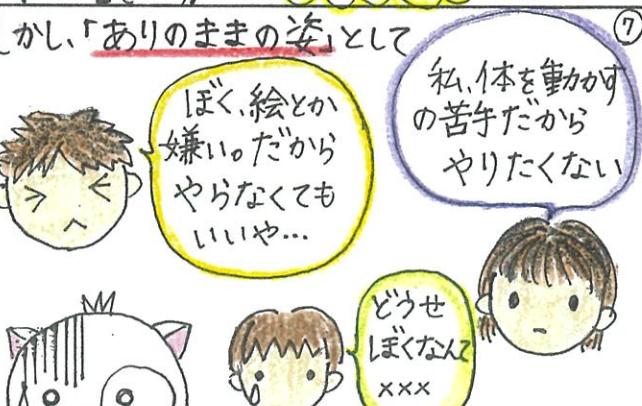
「やってみたい」「やってみよう」を大切にすると、Aさんは、何でもやりたがり…その「やってみたい」に応えていくことで「楽しいこと考えた！」と周囲の子どもの刺激になり、「もっとやってみよう！」と試したり工夫したりを繰り返していくようになるのかな。

「私なんて…」「できないからやりたくない」というBさんは、保育者の関わり方によっては「面白そう…」と興味をもったり、「やってみようかな？」と思ったりするようにならないかな…？

む、むずかしいけど職員みんなで考えて、共通理解しながらやってみます!!

研究をすすめるには、保育者も専門性、保育力、子ども理解など、質の向上が求められますよ～。

「意図的な関わり」が大事!!



★ 幼和4年度園内研究テーマ★

「やってみたい」「やってみよう」を大切にする保育を目指して
一人一人の内面を見取り、育ちを支える意図的な保育者の関わり

★ 研究の仮説

保育者が子どもの育ちを支えるために意図的な関わりをすることで、周囲の環境に興味や関心を持ったい遊びを見つけて遊びながら子どもに育つのではないか。

★ 研究の方法

前回取り上げた公開保育や協議の他に、
今年度はポートフォリオ(写真を見て話し合い…
写真を保育の資料として記録する)を活用します。

○各年齢の視点

0歳児：安心できる保育士等に見守られ、
安心して遊ぼうとする

1歳児：保育士等との信頼関係の下、一人一人が
安心してしたい遊びをしようとする

2歳児：保育士等の見守りの中で、安心して
身近なものに興味や親しみをもって遊ぼうとする

3歳児：保育士等や友達と過ごす中で、
安心して自分のしたい遊びをしようとする

4歳児：自分なりに思いや考えを表す中で、保育士等や
友達としたいことを見つけて遊ぼうとする

5歳児：友達と思いや考えを伝いながら、
生活や遊びをつくっていこうとする

どの年齢でどういうねらいをもって保育したら
仮説にせまることができるのか各クラスで
話し合いました。今年度は、このテーマで研究
一年目、手探りで取り組んでいきます!!
みんなでやろうぜ「エンケン」!!!

次回は「豊かな心」と「やってみたい」「やってみよう」です!